

(一社) 日本家政学会 関東支部 平成 24 年度 若手の会 夏企画
講演「王朝文学と日本の服飾」

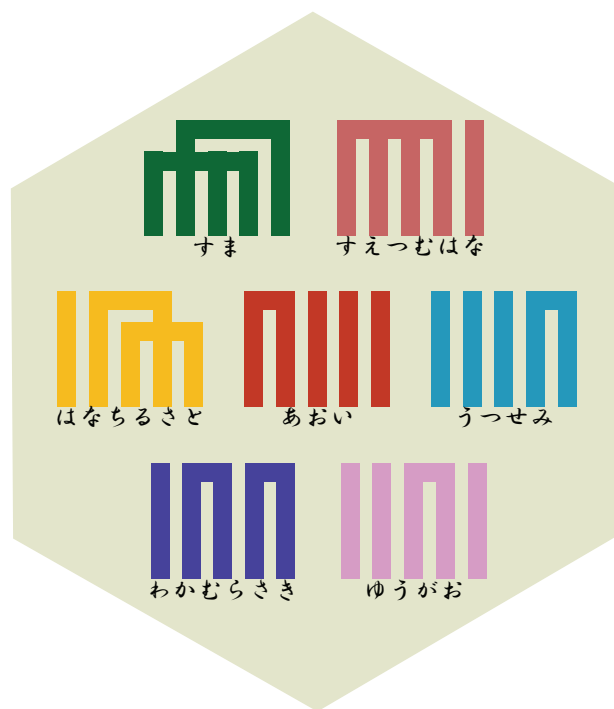
講師：和田 早苗 先生（日本服飾史・服飾美学）

物語絵巻などの画像を見ながら、物語の情景、着衣の説明、
その時代の服飾文化などについて解説します。

日本では、季節の色を服飾に用いることは古くより行われており、『万葉集』の歌などにその様を窺い知ることができます。平安時代になると、文献上には実に多種多様の服色に関する記述が登場するようになります。その色名の多くは「桜」「卯花」「紅葉」といった四季折々の草花や自然にちなんだものでした。『枕草子』や『源氏物語』などには当時の人々が季節ごとに服飾の配色に気を配っていた様子が描き出されています。

四季を持つ日本において、生活、文化に季節感が溶け込む豊かな文化を継承していくことは、私達の衣生活、ファッションにより大きな広がりをもたらすのではないのでしょうか。

日時：平成 24 年 8 月 4 日（土）
10:00 開場 10:30 開演（12:00 終了予定）
場所：文化学園大学 F 館
文化ファッション研究機構 F48
〒151-8523 東京都渋谷区代々木 3-22-1
（文化ファッション研究機構協賛）
定員：30 名（先着順） 参加費 無料



申込方法

件名を「講演参加申込」とし、(1) 氏名、(2) 所属、
(3) 連絡先、(4) 電話、(5) メールアドレス
をご記入の上、E-mail か FAX にてお申し込み下さい。

申込締切：7 月 30 日（月）

申込・問合せ先：

〒151-8523 東京都渋谷区代々木 3-22-1

文化学園大学 柚本 玲 宛

E-mail:kanto_wakate@yahoo.co.jp

Fax 03-3299-2335

